

第10回ユネスコスクール全国大会(横浜)開催！

本年度のユネスコスクール全国大会が、横浜市立みなとみらい本町小学校を会場として行われ、全国各地からユネスコスクール関係者が集まり、全体会・分科会を通して、熱心な議論が繰り広げられました。今号では、この大会について紹介いたします。



午前中に行われた全体会では、ユネスコスクールを卒業した若い世代の方々によるパネルディスカッションが行われました。大牟田市からは、白光中学校を卒業した大学生が登壇し、まちづくり等について行った当時の学習を振り返り、今後、自分自身が「大牟田のためにできることをやっていきたい。」と力強く述べていました。

午後からは、様々な分科会に分かれてのワークショップや実践発表等が行われました。

また、今大会では、ユネスコスクール全国大会の10回を記念して、功労者の表彰が行われました。本市の安田昌則教育長が、全国的な自治体のESD推進のモデルづくりを牽引した功績から、功労賞を受賞されました。本市のESDのご指導をいただいている東京大学の及川幸彦先生も受賞されました。

会場には、様々なユネスコスクールの実践を紹介するコーナーがあり、本市のみなと小学校、吉野小学校、手鎌小学校、宮原中学校のポスターが掲示され、多くの方が足を止め、熱心に見ておられました。

大牟田市教育委員会のブースにも多くの方がお見えになり、昨年度の大牟田大会のお礼を述べられた方もおられました。

平成30年度 ユネスコスクール子どもサミット

【日時】平成31年1月12日(土) 開会9:30 【会場】大牟田文化会館

【内容】(実践発表) 大正小学校、白川小学校、駛馬小学校、天領小学校
宮原中学校、宮城県立多賀城高等学校

(合唱) 明治小学校・白光中学校

大牟田市立倉永小学校の実践

第5学年「倉永ふるさと再発見」を通して

本校の5年生は、総合的な学習の時間「倉永ふるさと再発見」の単元を通して、自分たちの校区に誇りを持ち、誰もが住みやすい校区にするための活動を考え、取り組んでいます。その一環として、自分たちが調べた校区の歴史的な史跡の説明をしながら、縦割り班を使って、スタンプラリーを行いました。また、実施にあたっては、保護者や地域の皆様のご協力(安全面・公民館の開放等)をいただきました。

一連の活動を通して、誰もが誇りに思う校区や社会を実現するために、先人の思いや受け継いでいる人々の願いを大切にすることに気付いていました。



大牟田市立宅峰中学校の実践

第1学年「共生社会を考える学習」

1年生は、1学期に身近な高齢者や家族に「高齢者になった時の不安や楽しみ」などのインタビューをして、絵本教室に臨みました。2学期には、高齢者の方と楽しい時間を過ごせるように工夫した出し物を考え、1日体験をしました。また、大牟田市が取り組んでいるキャロットサービス(社会福祉協会)について、GTの迫さんをお呼びして、社会とのつながりを話していただきました。

そして、車いすバスケット協会の井出さんから共生社会をつくるために大切なことは、「心のバリアフリー」ということを学習しました。その後、車いす、アイ・マスク、疑似高齢者キットを体験しながら、校内を探検しました。

これらの活動を通して、共生社会で私たちにできることを考えています。

